

審議会等会議録

会議の名称	令和4年度第1回加須市廃棄物減量等推進審議会
開催日時	令和5年1月17日（火）13時30分から16時04分 まで
開催場所	加須市役所 本庁舎 4階 本会議場
議長氏名	平井喜一郎 会長
出席委員	杉澤正子 副会長 金井恭一 委員 北野 均 委員 村田秀子 委員 内田親 委員 竹内達也 委員 川寄幹生 委員 若山敬 委員 岩井松巳 委員
欠席委員	岡田輝彦 委員 村田美奈子 委員 吉澤君子 委員 溝口裕二 委員 岡村綾子 委員 小林章子 委員 金子亮 委員 吉永一平 委員 田村稔 委員
会議次第	1 開会 2 委嘱状の交付 3 あいさつ 4 議事 （1）役員の改選について （2）諮問 （3）第2次加須市一般廃棄物処理基本計画策定について （ア）第2次一般廃棄物処理基本計画の策定概要について （イ）基本計画策定に係る市民アンケートの実施結果について （ウ）第2次加須市一般廃棄物処理基本計画策定（素案）について 5 答申 6 報告事項 （1）ごみ処理の状況について （2）ごみの資源化、減量化に向けた取り組みについて （3）令和3年度指定ごみ袋の販売実績及び分別推進料の使いみちについて （4）加須市のリサイクル率について 7 閉会
会議資料の名称	資料1 第2次一般廃棄物処理基本計画の策定概要 資料2 基本計画策定に係る市民アンケートの実施結果 資料3 第2次加須市一般廃棄物処理基本計画策定（素案） 資料4-1、資料4-2 ごみ処理の状況について 資料5 ごみの資源化、減量化に向けた取り組み 資料6 令和3年度指定ごみ袋の販売実績及び分別推進料の使いみち 資料7 加須市のリサイクル率について
会議の公開又は非公開の別	公開

非公開の理由	—
傍聴者の数	0人
説明者の職・氏名	環境安全部 部長 福田 浩一 環境安全部資源リサイクル課 課長 藤井 浩司 主幹 川島 昌美 加須クリーンセンター 所長 石井 光晴 環境安全部 環境政策課 課長 飯野 伸康 上下水道部 下水道課 課長 増田 英二 騎西総合支所地域振興課 課長 伍井 正巳 北川辺総合支所地域振興課 課長 前田 辰男 大利根総合支所地域振興課 課長 田中 浩
事務局職員の職・氏名	環境安全部 部長 福田 浩一 環境安全部資源リサイクル課 課長 藤井 浩司 " 主幹 川島 昌美 " 主査 山下 彰
会議録の作成方法	<input checked="" type="checkbox"/> 要点記録 <input type="checkbox"/> その他 ()
その他必要な事項	なし

様式第3号（第8条関係）

発言者	会議の内容（発言内容、審議経過、決定事項等）
1 開会	
進行：川島主幹	<p>本日の会議につきましては、加須市審議会等の会議の公開及び会議録の公表に関する要綱に基づき、公開としております。</p> <p>会議の内容を記録する議事録を会議終了後に作成し、会長に確認、署名をいただいた後、ホームページで公表します。</p> <p>このため、本会議の録音及び写真を撮影することにつきまして、ご承諾くださいますようお願いいたします。</p>
2 委嘱状の交付	
川島主幹	<p>令和4年度の団体等の組織改選に伴い、新たに本審議会の委員としてご活躍いただく8名の方のうち、本日ご出席いただいた3名の方に、角田市長が皆様の前にお伺いし、委嘱状を交付させていただきます。</p> <p>金井 恭一委員、北野 均委員、内田 親委員へ委嘱状交付</p>
3 あいさつ	
平井会長	あいさつ
角田市長	あいさつ
事務局及び担当課紹介	
川島主幹	<p>事務局及び担当課紹介</p> <p>福田環境安全部長、藤井資源リサイクル課長、同課山下主査、加須CC石井所長、飯野環境政策課長、増田下水道課長、伍井騎西支所地域振興課長、前田北川辺支所地域振興課長、田中大利根支所地域振興課長</p>
会議成立報告	
川島主幹	<p>ここで、議事に入ります前に、ご報告いたします。本日の会議は、委員19名のうち、出席10名、欠席9名ですので、加須市廃棄物の処理及び清掃に関する条例施行規則第5条第2項の規定により、委員の過半数が出席しているため本会議が成立していることをご報告申し上げます。</p>
4 議事	
平井議長	<p>これより議事進行を平井議長が行う。</p> <p>(1) 役員の改選について</p> <p>事務局から説明をお願いします。</p>
藤井課長	会長を平井さん、副会長を杉澤さんとして選出することについて説明
平井議長	<p>皆さんいかがでしょうか。</p> <p>(賛成総員)</p>
平井議長	<p>(2) 諮問</p> <p>続きまして、議事の(2)諮問に入ります。</p>

川島主幹	角田市長より平井会長に対しまして、審議事項を諮問させていただきます。
角田市長	角田市長が諮問書を読み上げる。 (角田 守良 市長から平井 喜一郎 会長へ諮問書手交)
川島主幹	市長はこの後、公務が入っております。誠に恐縮ではございますが、角田市長につきましては、ここで、退席させていただきます。
平井議長	(3) 第2次一般廃棄物処理基本計画策定について (ア) 第2次一般廃棄物処理基本計画の策定概要について (イ) 基本計画策定に係る市民アンケートの実施結果について (ウ) 第2次加須市一般廃棄物処理基本計画策定(素案)について (ア) から(ウ) について、一括して事務局から説明を求めます。
藤井課長	(ア) から(ウ) について説明
平井議長	本日、この後市長への答申を控えておりますが、委員の皆様を確認をしていただき、軽微な文言修正等は可能とのことで、また、答申の文面等に加えておきたいこと、御質疑、及び御意見等がありましたら、お願いします。
金井委員	資料1の5について。加須市一般廃棄物処理基本計画のなかに、ごみ処理基本計画と、生活排水処理基本計画がありますが、それぞれの計画期間を明記したほうがいいのではないのでしょうか。
藤井課長	了解しました。資料1に両計画の計画期間を記します。
川寄委員	3点申し上げます。 1点目は、ごみの焼却量を減らすことに視点を置いたほうが良いと思います。資源ごみについては、様々な手法がありますが、それは反映しにくいものであり、燃やすごみを直接焼却する量を減らすことは重要であると思います。 2点目は、資料2のアンケート調査結果を踏まえて、回答者の多くは、高齢の方ですが、加須市は、若い年齢層の方も多いため、次の世代の方の意見として、幅広い意見を取り入れるべきだと思います。 3点目は、今後、SNS等による廃棄物行政に関する情報発信等も一つとして、様々な啓発の方法を、今後考える必要があると思います。
藤井課長	当市は、これまでも、焼却量を減らすことを基本に取り組みを考えてまいりました。一例ですが、緑のリサイクル事業も、焼却量を減らすためのものです。 従前も新しい取り組みを行ってきましたが、今後も焼却量の削減を考えながら、対策をしたいと思っています。 アンケートにつきましては、私も読みました。内容は切実な意見があり、非常に参考になりました。

	<p>しかし、集積所の問題、例えば、燃やすごみの集積所と燃やさないごみの集積所の問題など、変えていくことは、市が主導で行うにも、限度があり、リサイクル推進協力会の方とも協力し、取り組んでおります。</p> <p>昨今、自治会加入率も下がっており、この点は市全体としても、ごみに関し、大きな問題ですが、地域の方々と、話し合いながら、解決法を模索したいと思っています。</p>
川寄委員	<p>加須市生ごみ処理容器購入費補助金に関しても、多くの予算を執行しているようです。買い手の市民には、非常にいい制度とは思いますが、費用と効果については、精査が必要だと思えます。</p> <p>他にもリサイクル率を増やす方法は考えられ、結局のところ、お金をかければ、リサイクル率を高めることは可能です。今回の素案で、おむつのリサイクルについてもありますがこれも同様です。</p> <p>しかし、それ以外に、お金をかけずに行う手法も必要であると考えまして、意見として申し上げました。</p>
藤井課長	<p>今後も考えてまいりたいと思えます。</p>
金井委員	<p>資料2の、アンケート調査結果38ページから申し上げます。</p> <p>処理困難物の受け入れの拡大を望む意見があるようですが、私もそう思います。また、その際は、ごみの分別品目辞典の見直しも必要であると考えますが、将来的なお考えをお願いします。</p>
藤井課長	<p>処理困難物につきましては現在、民間の処理施設が、騎西地域と大利根地域に1社ずつございますが、液体等の処理が困難であるということとして、現在、そういった液体物は、布に染み込ませて、燃やすごみに出してほしい旨の説明をしております。</p> <p>今後、処理困難物について、新たな、取り組みになったときには、ごみ分別品目辞典の改定が必要と考えております。</p> <p>生活様式も変わり、従前掲載されていない品目もあります。そういったものは、当課で記録しており、今後大幅な改定をして、より分かりやすいものにしたいと考えております。</p>
金井委員	<p>資料3の31ページ、加須市のリサイクル率について伺います。加須市は5位ですが、上位の4市の情報収集等は行っているのでしょうか。</p>
藤井課長	<p>小金井市に行き、担当の方に取り組みを伺いました。そのとき聞いたことを申し上げます。</p> <p>小金井市は、燃やすごみの指定の袋が1枚約90円です。</p> <p>自市の処理施設がなく、広域で処理をしている状況であり、何とかごみを減らしたいということで、1枚90円ですが10枚だと900円と、加須市よりごみ袋の値段を高くしているとのことでした。</p> <p>また、小金井市は、事業系のごみを受け入れる施設がないので、加須市と異なり、事業系のごみが分母に入っていないと聞きました。</p> <p>そういった事情により、この三多摩地区は、ごみ袋の価格を高価に設</p>

	定しているということを知りました。
金井委員	<p>資料3の42ページ、資源物選別について意見申し上げます。ここについては、多大な人件費、労務費等が発生していると思います。</p> <p>しかし、取り組み方がすぐに効果につながると思います。</p> <p>資源化量について、すごくよい数値であり、この点は非常に高く評価したいと思い、また、継続していただきたいと思います。</p>
藤井課長	ありがとうございます。
川寄委員	<p>数値だけでなく、割合で示すのも方法であると思います。</p> <p>ごみの搬入量に対する破砕率とか、資源化した割合などを、具体的に表してもいいと思います。県内でもトップレベルの選別をしていると思いますので、そういう取り組みをもう少し明確に表記してもよいと思います。</p>
(その他意見等)	
杉澤委員	<p>アンケートについて。アンケートの取り方、考察、そして表にする際の考え方に相違があると感じました。</p> <p>複数の回答をしたいと思っても、設問が一つ選びなさいという形式であるため、こういう結果になりましたが、一例として、問の7、8、9、21等は、複数回答したい方もいるのではないかと思います、複数回答とは結果に違いが生じると思います。</p> <p>グラフについても、複数回答の場合、円グラフではないものになると思います。</p> <p>問4の職業についても、解釈のしかたとも思いますが、無職と主婦との違いはわからない方もいたのではないのでしょうか。</p> <p>ただ、考察の仕方が、甘いと思いました。</p> <p>また、11ページの間13にある、「ごみ出しのルールが守られていると思えますか」という設問は、現実との乖離を感じます。市では、午前8時半までに集積所にごみを出すことを周知していると思います。</p> <p>しかし、私の住む地区では、収集車が回収する時間帯は、通常13時30分から14時の間です。このため、カラス対策等を鑑み、昼食後、13時30分までに出そうと周辺で申し合わせています。</p> <p>地区の暗黙のルールがそういうふうになっているので、この回答では、当地区は時間を守ってないことになります。</p> <p>市が指定する時間と実際の回収時間の差があることなどの考察が甘いと思いました。</p> <p>また、こちらの資料3の基本計画の素案については、大変細かい点ですが、全体的に文字、文面等の精査が必要と思います。</p> <p>また、はじめにのところで申し上げます。</p> <p>コロナウイルス感染拡大が進み、新しいウイズコロナの生活様式をこれから考えていく必要がある状況下で、「新しい生活様式が確立され」</p>

	<p>と書いてありますが、まだ確立されている状況ではないと思いますので、一例ですが、「新しい生活様式が求められ」などの文言にさせていただきたい。</p> <p>3ページにも、同じように新しい生活様式の確立に伴いと書いてあるので、現実をしっかりとらえて、文言にさせていただきたいと思います。</p> <p>10年間、私たちの指針になるものですので、精査して、計画としてさせていただきたいと思います。</p>
藤井課長	<p>了解いたしました。こちらは、公表するものですので、当課で改めて精査したいと思います。</p>
内田委員	<p>資料3の103ページ、生活排水処理施設利用の促進について、意見を申し上げます。この数値は、初めて目にしました。</p> <p>公共下水道整備率は、概ね良好であると思います。</p> <p>農業集落排水施設加入率は、農業集落排水施設が完成してから年月も経過していることを鑑み、加入率の向上が重要だと思えます。</p> <p>また、合併浄化槽普及率については、現状52%であり、約半数です。これら2点は、市民の方に対し、普及のためのPR等の手法を講じてほしいと思います。</p> <p>やはり、生活排水処理は、生活環境において一番の基本的事項であり、早急に、取り組んでもらいたいと思います。</p> <p>一般の方に、理解が及んでいない面もあると思います。</p> <p>そういう事情を踏まえ、私の意見として申し上げます。</p>
藤井課長	<p>今日担当課である、下水道課長及び環境政策課長も出席しておりますので、各課と調整し、今後、市民の方に周知を図っていきたく思っております。</p>
川寄委員	<p>内田委員が発言された、公共下水道、集落排水、合併浄化槽について、申し上げます。特に農業集落排水の加入率が77%であり、完成から10年以上経っていながら、まだ2割の方はその地域に住んでいても、接続していないということであり、これは本当にもったいないことであると思えます。</p> <p>相当のお金をかけて整備した施設に、2割以上の方が接続していないことについては、今後、接続のための努力をお願いいたします。</p>
平井議長	<p>他に、御質問、御意見等がありますか。</p> <p>ないようでしたら、答申に進みたいと思います。</p> <p>答申としましては、</p> <ol style="list-style-type: none"> 1 ごみの焼却量の削減。 2 若い年齢層の方の意見を反映させる。 3 啓発・周知・広報を効果的に行う。 <p>こういった旨を、答申内容とすることでよろしいでしょうか。</p>
	(賛成総員)

平井議長	では、これで議事を終え、答申となります。
5 答申	
平井会長	平井会長が答申書を読み上げる。 (平井 喜一郎 会長から角田 守良 市長へ答申書手交)
6 報告事項	
平井議長	続いて、報告事項に移ります。 (1) ごみ処理の状況について (2) ごみの資源化、減量化に向けた取り組みについて (3) 令和3年度指定ごみ袋の販売実績及び分別推進料の使いみちについて (4) 加須市のリサイクル率について (1) から (4) について、一括して担当課長より説明をお願いします。
藤井課長	(1) から (4) について説明
平井議長	御質疑、及び御意見等がありましたら、お願いします。
川寄委員	3点あります。 1点目は、資料4-2。私が資料に全て目を通して一番驚いたのは、世帯数が、平成26年度から伸びていることです。 ごみに関することではありませんが、この要因と、こういったことを加須市としてアピールしているのかということ。また、アピールしていないのであれば、もっとアピールしたほうがよいと感じました。 2点目は、資料5。最初のページの発生抑制資源化計画の3番。 プラスチック類ゴム製品のごみ排出量の成果・目標指標が掲げられていますが、その取り組み内容の中に、マイボトル運動とありますが、プラスチック類ゴム製品の中には、ペットボトルや缶・ビンは含まれないはず。このため、マイボトル運動と直接関係があるものではないと思いました。これは感想です。 3点目は、次のページ。6番の小型廃家電リサイクル事業ですが、平成30年度に目標値である190トンを達成し、その後も実績が上昇傾向にあります。それでも令和4年度の目標値は190トンで、目標値を上げていない理由について伺いたいと思います。 先ほどのプラスチック類ゴム製品の排出量について、あるいは、リサイクルフェアでのリユース量も同様ですが、目標を達成した以上は、もっと意欲的に取り組んでもいいのではないかと思い、質問しました。
藤井課長	1点目の世帯数については、加須市は埼玉県内で都市計画法34条の11号の区域、つまり市街化調整区域の中で、一定の要件を満たすと、開発が可能になります。 通常、市街化調整区域というのが市街化を抑制する区域ですから、住

	<p>宅とかは農家住宅等しか建てられないのですが、都市計画法34条の11号の区域が、埼玉県内で面積が最も広いため、開発が非常に多いのです。</p> <p>土地についても、白地の部分がかかなり残っているため、集合住宅、或いは戸建住宅が、毎年開発が行われており、当面は、この世帯数が増えていくと思っています。もちろん、一定の区域に偏っているものではありません。</p> <p>2点目のプラスチックごみについてですが、これは川崎委員の御意見のとおり、ペットボトルは、基本的にリサイクルのルートが確立されていて、売却益も出ますので、プラスチックごみの削減ということには直接の関係はないかもしれませんが、この点は、ごみの減量化の関係についての位置づけをしております。資源化には繋がりますが、出かけるときにはマイバッグやマイボトルを持って行くことを啓発し、ごみの発生抑制という面で、プラスチックに関する位置づけをしております。</p> <p>3点目の、小型廃家電リサイクル事業につきましては、実績は伸びていますが、確かに計画策定時の目標数値のままとなっています。</p> <p>こちらについては、増える見込みがあり、それを踏まえ、目標数値を年度ごとに増やしたものとなっておりますが、今後、意欲的に取り組みたいと思います。</p>
金井委員	<p>資料5について、4のグリーン購入の推進を除き、所管課は資源リサイクル課となっておりますが、他課を所管とする取り組みは他にありませんか。</p>
藤井課長	<p>ごみの資源化、減量化に向けた取り組みというのがございまして、これは前回のごみ処理基本計画、この中にある一部分を抜粋したもので、実際には、他課を所管とするものも他にございます。</p>
金井委員	<p>了解しました。</p>
平井議長	<p>他に、御質問、御意見等がありますか。</p> <p>ないようでしたら、以上で議事、報告事項を終了させていただきます。長時間にわたり、御協議いただきまして、誠にありがとうございました。以上で私の議長の任を解かせていただきます。御協力ありがとうございました。</p>
川島主幹	<p>平井会長には、議長としてスムーズな進行に努めていただき、ありがとうございました。</p> <p>また、委員の皆様におかれましては、大変貴重なご意見やご提言等を賜り、ありがとうございました。</p>
7 閉会	
杉澤副会長	<p>閉会あいさつ</p>

以上、会議の内容に相違ないことを証するためにここに署名します。

令和5年 / 月3 / 日

議長の署名

平井 喜一 朗